

令和2年度 第3回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

| | | | |
|----------|--|------|----|
| 日時等 | 令和2年8月28日（金） 13：30～14：45 政策審議室 | | |
| 議題 | <ul style="list-style-type: none"> ・初期計画「効果の検証と評価結果」（案）について ・「えびな元気にぎわい振興計画（第2期）」（案）について | | |
| 出席委員 | 羽田会長、三田副会長、尾崎委員、牛村委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、三部委員、半澤委員 計9名 | | |
| 公開の可否 | 公開 | 傍聴者数 | 0名 |
| 事務局・説明者等 | 経済環境部長 金指、 経済環境部次長 松本、 商工課長 一杉、 にぎわい振興係 係長 佐藤、主任主事 増田、長嶋 | | |

議題1 初期計画「効果の検証と評価結果」（案）について

■ 事務局より評価結果について説明

委員 23施策62事業について、9割以上着手したということで、しっかりとまとめられており、大変な作業だったと思う。この内容で効果の検証と評価結果については確定させていただき、これをもって第2期の策定検討に入りたい。

議題2 「えびな元気にぎわい振興計画（第2期）」（案）について

■ 事務局より「えびな元気にぎわい振興計画（第2期）」（案）について説明

委員 前回の審議会にて、第2期計画のスケジュールをいただいたが、10月の審議会には第2期の計画（案）を固めたい。本日は、それに向け、現段階で事務局として考えている計画のイメージをお示しし、各委員よりご意見を賜り仕上げたい。

課題については初期の計画にはなかったSDGsなど新しいものが出てきており、これから詰めていく。方針・考え方については、コロナ禍を受けた今後のにぎわいの在り方が方針となっていくと思うが、方針と課題は表裏一体である。

事務局 今回は3箇年の計画となるため、より実行性の高いアクションプランとしたい。現計画との違いとしては、かなり細かい指標・実施年度・事業主体等を記載していたところを、実施年度については標記せず内容を大枠で記載するよう変更している。

委員 にぎわい地域資源の7項目は決定か。

事務局 分類としてはこの7分類としたい。ただし、事業としては複数の資源にまたがるものも出てくると考えている。

委員 現計画より事業数が減ったと思うが、事業数が多すぎて軸がぼけていたため、良いことと思う。3箇年計画として、まさしくコロナ時代と並行していく事業とな

るが、事務局としてどう考えているか。

事務局 施策と事業について、コロナを意識しながら策定は行うが、コロナを中心に考えてしまうと面白味のない事業になってしまう。また、在宅勤務者も増加し、地元で生活する方が多くなると思われるため、市民を対象とした事業も考えていく必要があると思っている。

委員 にぎわい振興計画については、市民へまだ浸透していない。認知度を上げるような対策も必要と思う。

委員 市民に対して計画の中身をどう情報発信していくのか。

事務局 ホームページ、Facebook、えび〜にゃの SNS 等、情報発信の担当課はシティプロモーション課となるので、連携を取りながら発信していきたい。また、商工課としても観光ホームページ「えびなめぐり」や公式アプリでの発信も行う。

委員 にぎわい関係でホームページを見たときに、やりたい項目が最初に表示されていると使い勝手が良いと思う。

委員 えびな元気ナビの状況はどうなっているか。

事務局 ダウンロード数は 33,000 を超えている。テイクアウト情報を載せた 4 月～5 月には、通常の 2 倍～3 倍にダウンロード数が伸びた。

委員 在宅が増えて、居住地周辺での生活時間が増えていくと考えると、えびな元気ナビをさらに充実させていければいいと思う。

委員 市制施行 50 周年に関してのシティプロモーション課の発表で、50 周年のロゴ入りのマークを一般募集するとあった。実際に、他に何をするのか具体的なものは出てきていないが、50 周年の計画の中でにぎわいとして一緒にできるものがあるのでは。

また、駅周辺や商業施設には、とにかく人が多い。こういった場所で PR してはどうか。

事務局 昨年度より 50 周年のプロジェクトチームを立ち上げ、様々な議論がされてきたが、コロナの影響でできないこともあり止まっている状況。お話いただいた内容についても、感染予防を講じていくことを計画に入れたうえで、3 年間のアクションプランに取り込んでいきたい。また、今までなかったようなバーチャルな新規事業を落とし込んでいくことも必要と感じる。

委員 ロマンسカーミュージアムは、アピール力・インパクトがあり、集客やにぎわいづくりに貢献すると思う。密を避けるためには、場所と時間の分散を図っていく必要があると思う。回遊性を高めることで、場所と時間分散をしつつにぎわいを保つのは可能では。

委員 いちごわいんについて、市制 50 周年のラベルを印刷する関係で、計画に貢献できないかと考えている。ラベルについては、市民の方から募集する、イオンさん限定のラベルを作るという 2 種類を考えている。

- 委員 施策1～7について、横のつながりがないように感じる。農業と商業が組んで、例えば畑でご飯を食べるイベント等、コロナ禍でできるかどうかはわからないが、一つのアイデアとして考えられるのでは。
- 委員 にぎわい地域資源については、わかりやすい分類だと思う。今後50年を見据えたときに、まちをどうしていくかということも考えなければならない。コロナ禍の今、都心に仕事で行くということも減ってくるかもしれない。そういった場合にどういった理由で海老名を選んでいただくのかが大事になる。
- 委員 東京は人が減っていると感じる。ランチ難民も減っているが、人口が減っているわけではない。オフィスの縮小が始まり、今後徐々にオフィスビルががら空きになっていくかもしれない。しかし、オフィスから撤退した場合に働く場所は自宅だけでは限界があるため、海老名もそのための準備をしたり、新しいライフスタイルに対応できるサービスづくりを考えていくべき。
- スタンプラリーについては、飲食店・ショッピング・農産物・製造業・キャラクターなどの、色々な施策が係わってくる。事業を実施することも大事だが、活かしていくことが重要と考える。
- 委員 計画（案）については、本日委員方からいただいた意見を反映し、次回審議会にて確定に近い案として諮っていきたいと考える。

議題3 その他について

■ 元気いっぱい!!名店・名産品スタンプラリーの実施について

事務局より、スタンプラリーを9月1日より実施する旨報告。今回は、半澤委員にもご協力いただき、酒販組合さんも店舗に含まれている。また、尾崎委員にもご協力いただき、フリースタンプ及び特別賞の賞品のご提供もいただく。